

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

2000.7.13 No. 5165

DC会館竣工レセプション

7・8新たな闘いのスタートライン!

二〇〇〇年七月八日、動労千葉の新たな闘いの拠点、新会館DC会館の竣工レセプションが、第四三回定期委員会に引き続いて行われ、日本の労働運動の厳しい状況を打破していく、血気盛んな闘いを、これからも動労千葉が押し進めていくことを、その内外にさし示した。

レセプションは、冒頭、主催者を代表して、本部長中野委員長が、「今、ここに新しいスタートラインに立った。三年あまりの大会での議論を通じた新会館の建設は、世のなかの動きからみれば、奇異に映るかもしれないが、労働組合には時には決断しなければならぬ。それが必要な時がある。関係各位と組合員の積極的支持を得て、組織の責任者として何よりも感謝している。豊和建設をはじめ建設に従事された方々の約半年間の御尽力、十一回の会議を積み重ねた会館建設委員各位の協力によっ



て新会館が竣工となった。旧会館は、一九七七年に出来たもので二三年間闘いを支えてくれた。使えなくなったわけではないが踏み切ることが重要だった。二一世紀、どのような風が吹いても充分抗していけるだろう。新会館を契機に、関係労組の協力を得て、中堅・若手の組合員の力で団結の砦になっていくようになってもらいたい。我々の前途は洋々だ」とあいさつを行った。

続いて、本レセプションに御参集いただいた多くの来賓の方々よりあいさつを受けた。

熱い連帯の挨拶
廿六に闘わおう!

※国労千葉地本・土井書記長
DC会館竣工おめでとうござ
います。「四党合意」は、決して紛争問題の解決にはならない。不当労働行為を許さない原点を放棄するものだし、路線転換につながる。闘争団の思いに反し、



支援勢力の思いに反するもの。全力で闘い抜く。

※三里塚芝山連合空港反対同盟
北原事務局長
振り返ってみると、動労本部との決別など様々な苦闘をのり越えて、新しい拠点ができた。全国の労働者も皆、喜んでいてと思う。労働者が職場を追われるということは、農民が土地を奪われることと同じだ。爾来三〇年共に歩んできた。三里塚の廃港まで共に闘い抜く。

※顧問弁護士 佐藤弁護士
国鉄闘争にひとつの転機が迫っている中で、こういう拠点ができたことはとても喜ばしい。

全組合員の力で新たな団結の砦に

一〇の勧告やリストに抗する支持・共感をえられる有利な条件の中で、国労臨時大会をめぐる状況―組合の大会に権力の介入を即し、演壇占拠を暴力行為と本部が非難するなど、団結権の行使という点でも悲しい事態だ。いよいよ団結の力を発揮してもらいたい。

レセプションは、本部長・中野委員長、家族会・佐藤会長の鏡割り、君塚副委員長の乾杯により、歓談の輪が続いていった。

二一世紀に向かって、動労千葉の未来を切り拓く闘いが、このDC会館がその発信基地となって活動を開始する。

大会は細引き
あつまろう
◎7月16日(日)9時
九十九里一松海岸
◎海の家「あいの」

